

# 第1 震災発生時の盛岡市の状況及び対応

平成23年(2011年)3月11日14時46分に三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。

この地震により宮城県栗原市で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度6強など広い範囲で強い揺れを観測し、盛岡市でも震度5強を観測しました。

また、太平洋沿岸を中心に大きな津波を観測し、特に東北地方から関東地方の太平洋沿岸では甚大な被害がありました。

## 1 市内の被害状況

人的被害	
津波により、盛岡市内に住所のある方32人が死亡	
3月11日	5人が救急搬送(いずれも軽症)
火災	
3月11日	牛舎1棟全焼
停電	
3月11日	市内全域で停電
3月12日	神明町や紺屋町から復旧始まるが、多くは停電中
3月13日	市中心部から徐々に復旧
3月14日	市内ほぼ復旧
断水	
3月11日	4,767世帯が断水
3月12日	46,867世帯が断水
3月13日	25,200世帯が断水
3月14日	断水解消
市有施設の被害	
建物施設	141施設で壁や天井などの亀裂や電灯などの落下
道路など	19カ所の市道などで亀裂や歩道タイルの剥がれなど
上水道施設	9カ所の配水管など破損
下水道施設	6カ所の下水道管路など破損
市有施設以外の被害	
建物被害	全壊1棟、大規模半壊1棟、半壊10棟、一部破損712棟、その他81棟
農畜産関係の被害	
畜産関係	牛舎全焼により、牛4頭焼死。断水や飼料不足などにより採卵鶏・種鶏4,641羽へい死。流通不能や停電による集乳施設不稼動により生乳272,833キロ廃棄。養鶏飼養施設の損壊や敷地・通路のり面の崩落。
農業施設	農道1路線でのり面崩落。ため池1カ所でのり面崩落。
農地	水田隆起1カ所、水田崩落1カ所、水田のり面亀裂1カ所、草地亀裂1カ所

## 2 震災後の出来事や市の取組

### ●3月11日(金)

市災害対策本部を設置

市内に避難所設置(50カ所 2,300人)

大型バスを借り上げ盛岡駅西口に駐車し宿泊所に

市外被災者の受入れを開始

市内全域で停電

コンビニやスーパーなどに長蛇の列

ほとんどのガソリンスタンドで給油不可

### ●3月12日(土)

市内避難所(64カ所 4,496人)

要援護者の安否確認を民生委員に依頼

マンションの断水対策で公共施設を開放

断水地域への応援給水を開始

道路被害の現地確認と修復作業

市内の一部で電力復旧

JR在来線全線・IGR運休

### ●3月13日(日)

市内避難所(57カ所 3,221人)

情報収集のため県災害対策本部員会議に連絡員を派遣

沿岸被災地からの避難者受入れを開始

節電への協力を広く呼び掛け

### ●3月14日(月)

市内避難所(22カ所 659人)

沿岸被災地への職員派遣を開始

市役所で義援金の受付を開始

市内デパート地下でガス爆発

市内電力、ほぼ復旧

バス会社は臨時ダイヤで運行

### ●3月15日(火)

市内避難所(16カ所 427人)

玉山区好摩・巻堀地区の固定電話が復旧

JRが在来線一部運転再開

### ●3月16日(水)

市内避難所(11カ所 264人)

旧盛岡地域と玉山区で家庭ごみの収集停止

市災害支援センターを農林中央金庫ビルに開設

IGRが一部運転再開

### ●3月17日(木)

市内避難所(3カ所 18人)

ガソリンの供給再開で市内各所に渋滞が発生

### ●3月18日(金)

市内避難所(3カ所 18人)

IGRが通常運転再開

### ●3月19日(土)

市内避難所(1カ所 2人)

都南地域は生ゴミのみ通常どおり収集

石油列車が盛岡に到着

JRが在来線の通常運転再開

### ●3月20日(日)

市内避難所閉鎖(市外被災者の受入れは継続)

### ●3月22日(火)

被災者の転入学などに応じる教育相談窓口を開設

東北新幹線盛岡-新青森間で運転再開

### ●3月24日(木)

市内全域のごみ収集が通常どおり再開

被災者の生活支援などの総合相談窓口を開設

### ●3月26日(土)

つなぎ温泉への被災者一時移送を開始

### ●3月30日(水)

大気中の放射線量を市のホームページに掲載

### ●3月31日(木)

避難者の市営住宅などへの入居募集を開始



市災害対策本部の様子



### 3 避難所の設置

各避難所へ職員を2名配置し、その運営にあたりとともに、停電に伴う暖房確保のため、災害時応援協定に基づき、レンタル業者から発電機、投光機及びストーブを手配し配置しました。また、備蓄の非常食料、燃料及び毛布を避難所に配布しました。

また、小学校などの避難所11カ所に30個の仮設トイレを設置しました。



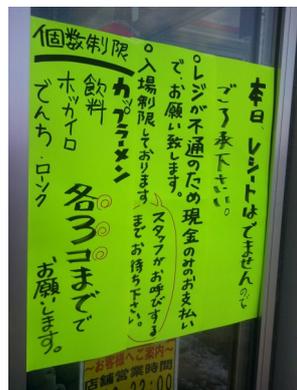
### 4 通勤困難者及び旅行者への対応

地震に伴い、鉄道及びバスなど、公共交通機関の運行に障害が生じ、通勤者及び旅行者が市内に足止めされたことから、盛岡駅西口のアイーナ（いわて県民情報交流センター）とマリオス（盛岡地域交流センター）に避難所を開設し、市内の避難者と同様の対応を行いました。

また、バス事業者から大型バス8台を借り上げ、盛岡駅西口ロータリーに駐車して、宿泊所として提供しました。



マリオスに開設した避難所の様子



震災後の市内の様子